

6次産業化方策探る

五所川原

フオーラム 西北地域 地元企業が意見交換

県西北地域農林水産部は2月26日、西北地域6次産業化推進フオーラムと地域内連携による6次産業化を目指して、五所川原で開いた。パネルディスカッションでは6次産業化に携わる地元企業などが参加し、それぞれの工夫や課題について意見を述べた。

(下山和枝)

フオーラムでは農業の中で、消費者にとってのよきシャナリストの青山うに知ってもらおうかと考へてPRすべき」と述べて、

パネルディスカッションには5人が参加。ヨンは「ふかうら雪入参」な

どの加工に携わる深浦町食産業振興公社の山本昭彦事務局長は「1次加工の仕組みを作らなければ、その先の振

興を図れない」とし、地元産下ライフルツ

だが、地元貢献が役目



の「つ」とし、企業組合で、そのの澁谷尚子代表理事は「観光客のニーズを考え、量を少なくするなどして売れた商品がある」と話した。

深浦産マグロのインターネット販売を目指すあおもり海山の野呂

英樹取締役営業部長は「活動を地域に還元したい」と展望し、子どもたちが地域を述べ、それぞれの理

念や苦勞に対し、会場の人々が真剣な表情で耳を傾けた。